

授業科目名		担当講師名		対象学年	
疾病と治療 I 病気とメカニズム		向井 奉文		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	後期	火曜日	3 限目
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	病気を正しく認識する。病気の原因、内因、外因を理解する。				
到達目標	病理学が医学や医療のなかでどのような役割を担っているかを理解する。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第 1 章 病理学で学ぶこと：病気の原因、公害病・医原病・職業がん 第 2 章 細胞・組織の障害と修復
2	第 3 章 循環障害：浮腫、充血とうっ血、出血、血栓症、塞栓症 虚血と梗塞、ショック 第 4 章 炎症と免疫、移植と再生医療： 炎症の各型、アレルギーと自己免疫疾患 臓器移植、骨髄移植
3	第 5 章 感染症：感染症法と検疫 第 6 章 代謝障害：脂質代謝障害、痛風、黄疸など 第 7 章 老化と死：死の三徴候、脳死と植物状態など
4	第 8 章 先天異常と遺伝子異常：染色体異常による疾患 第 9 章 腫瘍：腫瘍の広がり（リンパ行性転移、血行性転移、播種など）
5	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門基礎 病理学 医学書院
成績評価の方法	筆記試験 疾病と治療 I 消化器・呼吸器とあわせて 1 単位とする。
備考	